

## 一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和2年11月20日

議席番号 7番

東村山市議会議長 あて

質問者 小林 美緒

### 記

#### 1、第四次総合計画 重点課題の取り組みとその先へ

第四次総合計画後期基本計画において重点課題とした6つの分野について、第四次総合計画期間の最終年度である現時点までの取り組み状況と、今後にどのように繋げていく考えか以下伺うとともに、成果測定について伺う。

##### 1. 都市基盤整備

- (1) 踏切による交通渋滞や鉄道による分断、安全な移動空間の確保について
- (2) 公共施設の老朽化、少子高齢化の進展に伴う需給バランスの変化などを踏まえた公共施設の再生について
- (3) 今後、加速化が見込まれる空き家問題について

##### 2. 産業振興

- (1) 市内事業所数は減少傾向にあり、消費が市外流出している中、市内での経済の好循環を生み出す方策について
- (2) まちの強みを効果的に磨き上げ、その魅力を市内外に向け広く発信し都市の求心力を高めることについて

##### 3. 子育て支援

- (1) 待機児童のさらなる解消や多様な保育ニーズにこたえていくことについて
- (2) 地域ぐるみで出産や子育てを見守り・支えていくしくみづくりについて

##### 4. 高齢者福祉

- (1) 健康寿命の延伸に向けた取り組みについて

- (2) 高齢者が地域で安心して暮らすための介護予防や日常生活支援、地域でいきいきと活躍できるような社会参加や就業機会の拡充について

## 5. 安全・安心

- (1) 自助、共助、公助の役割分担のもと、安全・安心なまちづくりを多様な主体の協働により推進していくことについて
- (2) 震災時の輸送道路確保等のための都市計画道路などの幹線道路整備と沿道建築物の耐震化、下水道や河川の溢水対策について

## 6. 自然環境

- (1) 多様な主体と連携・協働のもと、市内に残された良好な自然環境の保全や再生に向けた取り組みについて
- (2) 緑の拠点としての都市公園ならびに緑地、街路樹の計画的な管理・整備、市民や事業者の自主的な緑化の促進について

## 7. 成果の測定について

- (1) 前期基本計画では、計画の成果を総合的に測定する指標として「東村山に住み続けたいと感じている市民の割合」を設定している。平成27年度70%達成を目標としており、69.3%と概ね目標に近づいていた。その後若干の増減があり令和元年には67.5%となっている。令和2年度の市民意識調査の結果が出ていれば何うとともに、この推移についてどう分析しているか何う。
- (2) 人口減少、高齢化は第5次総合計画前期基本計画の素案の想定人口でも示されている通りである。人口総体を考えれば、減少自体に歯止めをかけられずとも、住み続けたいと感じている市民の割合は増やしていきたいと考える。持続可能なまちであるために、この割合を増やしていく具体的に必要なことは何と考えるか。重点課題があれば何う。